



夜が更けて  
歌声響く  
猫の恋  
主事



## 熱戦 新春囲碁将棋大会

一月六日(日)、日吉住民センターで、新春囲碁将棋大会が開催されました。町内はもとより、西予市、四万十市から参加された三十名の愛好者が熱戦を繰り上げました。

成績は次のとおり

囲碁の部 A 級

優勝

真田佳勲

準優勝

高橋 宥

囲碁の部 B 級

優勝

井谷和隆

準優勝

二宮利夫

将棋の部 A 級

優勝

山本 静 男

将棋の部 B 級

優勝

森 枚 男

# メンズエプロン教室



2月4日(月)、住民センター調理室で、鬼北町生活研究協議会主催の「メンズエプロン教室」が開催されました。15人の男性が参加されましたが、皆さん見事な包丁さばきで、シシ汁をはじめ4品に挑戦されました。



## 「日吉わんぱくスクール

12月22日(土)、日吉保健センター調理室で「クリスマスケーキを作ろう」が開催されました。



## クリスマスケーキを作ろう」



低学年の参加者が多かったのですが、それぞれ工夫を凝らしたケーキが出来上がりました。



# 鬼北地区移動美術展

2月5日(火)から2月11日(月)の期間、住民センターロビーで、鬼北地区移動美術展が開催

されました。絵画、写真、陶芸等、68点の展示があり、多くの方々が鑑賞されました。

絵画教室受講生からも、秋の風景画など3点の出展がありましたが、他の作品に負けない出来栄でした。



## 想い出の原稿



公民館主事をしていると、各方面から原稿の執筆依頼があるのだが、机の引き出しを整理していたら、平成十四年に北宇和郡公連関係の広報誌に掲載された原稿が出てきた。つたない文章ではあるが紹介させていただきたい。

### 「国鉄第一〇四号線」

住民センターのロビーの展示ケースに井谷正命氏の肖像画と写真が掲示されている。この人が初代村長をされた方だなくらいな気持ちで毎日なにげなく見ていた。この人の偉大な業績については、小学生の頃からことあるごとに聞いていたのにそれを何一つ満足に語れない今の自分に気付き恥かしい限りであった。

そこで今回自身自身の学習のためにもこの井谷正命氏（以下先生と言う）の業績をみつめなおし、皆さんにも御紹介したいと思つた。

先生は明治元年六月十五日、当主庄治為祥の三男に生まれ幼名を辰三郎とよんだ。十五の春、旧城下吉田学校在学中旧藩士今城通言に請われてその養子となった。しかし、兄二人が病で逝つたため養子からもどり井谷家を継ぎ正命に改名した。ときに十九歳であった。

明治二十三年市町村制が実施され、従来の日向谷、上鍵山、下鍵山、父野川、上大野の五カ村が合併統合され日吉村になった。前述のとおり先生は初代村長に就任したわけだが、関西法律学校に学んだという、その新知識を村の人達が高く評価したといわれる。その後東宇和郡魚成村村長、愛媛県会議員、北宇和郡会議長等多くの重責を担われている。

先生は交通機関には特に力をそそがれ宇和島―須崎線、長浜―日吉線の県道開設に肱川をさかのぼる国鉄第一〇四号線は、先生畢生の大事業であった。しかし鉄道敷設技術の進歩と政変により国鉄第一〇四号線は第一〇三号線に転換され代行の国営バスが開通した。多年第一〇四号線完成のために全身全霊を捧げた先生にとって一大ショックであった。

日吉に来られた方はお分かりになると思うが役場付近の整った家並み、幅の広い道路は、元は田んぼであったが、先生自ら道を抜きそれに沿って宅地をつくられ、商工業を奨励せられたという。これは土地がみな井谷家の所有地であったため任意であったのである。先生は今日の車社会を当時から予測できていたのだろうか。

日吉には昔、日吉実業学校があったが、設立者は先生である。自ら校長となり農村青年の育英に専念された。これも日吉尋常小学校に高等小学校が併設されてから閉校した。この

学校で教育を受けた約五十名の人々は、その後村の中堅として活躍された。先生は県政友会の中心人物だった。愛治村の玉井卓蔵氏、畑地村の赤松泰苞氏等と連携し郡政に県政に貢献された。政友会員といえば保守一点張りのようであるが、先生は保守でも進歩的な改革派で時勢達観の叡智に富んでおられた。昭和九年一月二十四日先生はその生涯を終えられた。葬儀に列された当時の宇和島市長であり生前の政友であった山村豊次郎氏の弔辞の一部を紹介しよう。

今や拳世滔々として浮華軽佻、利に走り名を求め、公事を忘れて私利を計らんとする者少なからざる時に当り、君の如きはその終生を捧げて公共のことに竭くし、家産を蕩盡して顧みざるもの果たして幾人かある。君の熱烈なる心事は誠に天人のともに感ずるところにして、日吉村がその功を思い得を頌し村葬をもって君の柩を送るは故ありといふべく、君の霊又もって瞑すべきなり。

色々な資料を読んで先生を探求したが明治初年以来の歴史は先生の業績と関係なしには記録されなかつたであろう。最後に先生の歌でしめくりたい。

吾こそは貧しくなるも吾が郷の

栄え行くこそ樂しかりける

参考文献 「日吉村誌」

「風雪の碑 明星ヶ丘」

# 等妙寺旧境内展



本坊跡の石積み

等妙寺旧境内は、鎌倉時代末期、天台宗の改革を進めた高僧恵鎮の一派による戒律復興運動と全国への普及の構想によって創建され、「遠国4箇戒場」と呼ばれる戒場(僧を養成する修行道場)として定められた地方寺院の一つである。当寺は、中世を通じて隆盛し、四国における天台律宗の拠点寺院として一時代を築いた。鎌倉時代に興った仏教革新運動の具体的な姿を伝える貴重な遺跡として高く評価され、今年度、国の史跡として指定された。

開催期間

平成20年3月1日～5月25日

開催場所

歴史民俗資料館 1階企画展示室

観覧料金

大人(高校生以上)200円

小人(中学生以下)無料

お問い合わせ

生涯教育課 文化振興係

TEL 0895-45-1111(内線414)



褐釉龍文壺(ルソン壺)



くじゃくもん けい きんぱく  
孔雀文銅製馨と金箔貼飾り金具

## 編集後記



昨年、世間を騒がせた事件に食品偽装問題があった。食品加工販売会社、製菓会社高級料亭グループなどが、賞味期限改ざん産地・原材料の偽装等、自らの利益のためにことごとく消費者を裏切った。今、問題になっているのが、中国製毒入りギョーザ問題だ。誰が、何の目的でこんなことをするのか？現在

のところ、真相解明に至っていないが、早急に解決してもらいたい。最悪人命が奪われることになりかねないのだから。

寒さが続くせいもあって、うどんをよく食べる。揚げや玉子はなくてもいいが、欠かせないのはネギである。裏の畑からいるだけ抜いてきてどんぶりに入れる。香りがよく、ほどよい苦味がうどんによく合う。もちろん無農薬だ。ささやかではあるがこれも地産地消である。食の安全を求めていく上でも見直されていこう。